

# まちづくり活動を活性化する！市民トークセッション②

## 新たな「まちづくり」プレイヤーが参画しやすいまちにするには？

そもそも「まちづくり」ってなんだろう？私たちが「まちづくり」という言葉を使うとき、なんのことを指して使っているんだろう？

住んでいて良かったまち、これからも住み続けたいまち

個人の利益とみんなの利益を同等に目指すもの

住みやすい・暮らしやすい

住みやすいまちに自分ですること

近所のあいさつ

地域の住民が気軽に話ができる環境

住民同士の助け合い、関わり合うこと

より暮らしやすくするための活動

暮らしやすくなるための何らかの活動や取り組み

地域のつながり

包摂的な...

個人だけではない不特定複数の人へ利益がある

人々がつくるもの

いろんな人が関わるもの

地域と一緒に何かに取り組む

様々な人が集い、定住する場所

地域での子育て

地域課題の解決に、地域住民等が協働で取り組むこと

駅前の清掃

地域のQOLを高めるための住民の共助の動き

ゴミ拾い

いろんな人が関わるもの

地域と一緒に何かに取り組む

おおげさでないなにかの活動

皆に必要なものを作る

地域の「困った」を改善すること

道路整備、イベント開催

地域社会のための公共活動

まちって居住地？勤務先？出身地？どれも大事にしたい

公的に共有できるコト

地域の活動

住民同士の助け合い、関わり合うこと

地域の底力を醸成する場

まちづくり、とは、みらいづくり

これからも住み続けたいまち

まちづくりとは、みらいづくり

市民が中心となって考え行動する

歩いて行ける小さな範囲から始まる

まちをよくする活動

多様なセクターが協働して進める

なにより市民が主人公！

文化をつくり、伝えたり。

若い世代（子育て）の地域行事への参画

住んでいて良かったまち

新しい、これまでにない飲食店やゲストハウスなどを「みんな」でつくる

# まちづくり活動を活性化する！市民トークセッション②

## 新たな「まちづくり」プレイヤーが参画しやすいまちにするには？

班 1

あなたがまちづくりに参加した、あるいはしたいな、と思ったきっかけや、まちづくりに参加してよかったな、と思ったことはなんですか？

仕事として  
会社として  
社会活動に  
参加

まちづくり  
は絶やし  
ちやいけな  
いもの

お祭りとか  
人が集まる  
場所に行き  
たい気持ち

この団体の活  
動に興味があ  
る、やってみた  
いから入ってき  
た

地域の人喜んでくれると参加してよかったなと思う

長く住んでいたまちに参加したい気持ち（今は住んでいないけど）

学校外で地域と  
子どもたちのつ  
ながりや学びに  
かかわれる喜び

ボランティア  
アガ一番は  
いりやすい  
かたち？

ハードルは  
人それぞれ

お祭りを作る  
人と参加するだ  
けの人のちがい

「まちづくり」活動とは思っていない地域活動、市民活動をやっていた その違いってなんだろう

# まちづくり活動を活性化する！市民トークセッション②

## 新たな「まちづくり」プレイヤーが参画しやすいまちにするには？

**班 2** あなたがまちづくりに参加した、あるいはしたいな、と思ったきっかけや、まちづくりに参加してよかったな、と思ったことはなんですか？

子供と1:1でいると内向的になる。

行政の乳児健診で子育て世代と一緒に話す機会があつてよかった。

阪神大震災の時に何かできないかと思った。

地域支援、見守りなどを行った。学生時代に現場の本音を知ることができてよかった。

掲示板で調べて参加することもある。不安なことを相談できる・話せる場があることは良かった。

学生と一緒に活動をしている。自身の経験を伝えていけると良い。

色々な立場の方、主体者と知り合えて、自身の成長につながった。

コミュニティがあつて、そこに入るといことがまちづくりの一環なのかもしれない。

知らないことを共有できるコミュニティがあつてよかった。

# まちづくり活動を活性化する！市民トークセッション②

## 新たな「まちづくり」プレイヤーが参画しやすいまちにするには？

班 3

あなたがまちづくりに参加した、あるいはしたいな、と思ったきっかけや、まちづくりに参加してよかったな、と思ったことはなんですか？

PTA活動がきっかけでまちづくりに参加するようになった

最初は強制感があった

今は自治会の事務局

仕事として、社会課題をITで解決する事業創造がきっかけ

仕事として、障害者の就労支援している。生活相談の支援がやりたかった

友人や知人がたくさんできた

現場プレイヤーとたくさん会えた

プライベートの考え方も変わった。面白い！

自分もまちづくり活動に参加して、偏見がなくなった

世界が広がった

フォーマルだけでなく、インフォーマルな支援をするには、地域とのつながりが必要

福祉とまちづくりがつながったのは、5年くらい

知ることで変わる！！

障害やマイノリティに対して、まちがオープンになってきたと感じる

# まちづくり活動を活性化する！市民トークセッション②

## 新たな「まちづくり」プレイヤーが参画しやすいまちにするには？

### 班 4

あなたがまちづくりに参加した、あるいはしたいな、と思ったきっかけや、まちづくりに参加してよかったな、と思ったことはなんですか？

#### < 関係づくり >

10年前に千葉に引っ越し、いきなり自治会の役員になったが意外に面白かった。何が良かったかといえば、初めて引っ越してきたところでも、顔見知りになると話ができ、地域の相談ができる繋がりが広がった。

そのために結局継続して10年ほど関わっている。

銀行員としては地域の人の距離を感じていたけれども、まちづくりの場に参加すると関係が打ち解ける。そこから関係がどんどん広がる。銀行はこういうことをどんどんしていかなければならないと感じている。

地域の活動が最初だった。最近は犬の散歩をしながら、ゴミ拾いをしている。こういう活動もしていかなければならないなと感じている。

#### < 安心のまち >

どこに行っても挨拶できる関係があって、安心できるまちだと感じられるようになった。

#### < 仕事としてのまちづくり >

地域の社会課題をテーマとして考えたりはしている。会社でも、ゴミ拾いを持ち回りでやったりしている。（最初は嫌々でもきっかけになった）

#### < 情報を得る・発信する >

子ども食堂の活動では、小学校や子どものことなどの、地域の情報を教えてもらえたり、発信できたりすることが良い。

自分の子どもの口から聞けないことを、他の子どもから聴ける。

# まちづくり活動を活性化する！市民トークセッション②

## 新たな「まちづくり」プレイヤーが参画しやすいまちにするには？

### 班1 なにがあると、100点満点になりますか？

資金と責任（アイデアを実現するためのリソースと人）

ビジネススペースでない地域活動の持続の仕方とビジネス的な持続可能性

自治会・町内会の世代交代に時間がかかる

田舎と比べると分母が多くてプレイヤーの密度も濃くて色々起きている@京都

優秀な大学生が残らないのはもったいない！

イベント→運営側→新しいプレイヤー

世代間の交流を妨げているのはなんだろう

クラウドファンディングやアイデアをに支援する仲間を集めやすい仕組み

新しいことをしたい人に足りないもの 資金→補助金の使い勝手

持続性が課題（世代交代、組織運営）

まだ巻き込めてない人がいる

たくさんプレイヤーはいるけど、整理してまとめて進めていく人が足りない

若い人、子連れ、あまり普段参加しにくい層が入りやすいまわりのイベント

自治会町内会に若い人が来ると世代間交流が進むし、新しい発想も生まれる

持続性をサポートできる支援（お金、組織、つなげる。。。）

ソーシャルビジネス的にやっている団体が、社会的信頼を得られない背景を持っていることがある。門戸を狭めなくても、行政などが認可などで監督する必要ある。

行政予算がないと企業と組むのが難しい場合もある

テレコミュニケーションがまちづくりを発達できる

何かやりたいを「まとめる力」

あの人となら一緒にやりたいと思ってもらえる人

世代が交代しても、人が変わっても、やることは変わらない継続できる組織づくり

若い人が参加できてない（若い人に魅力を感じてもらおう）

コミュニティとしての包容力・包摂

少しずつ新しいチャレンジが許容・応援される組織

# まちづくり活動を活性化する！市民トークセッション②

## 新たな「まちづくり」プレイヤーが参画しやすいまちにするには？

### 班2 なにがあると、100点満点になりますか？

#### 点数の裏にある背景

49点！行政・地域が頑張っているが、個々で頑張っているが、うまくつながっていない。

時間がない  
会社員でも  
かかわれる  
仕組み

うすいけど  
長くかかわ  
れる仕組み

11年京都に住んでいて京都を離れたくなかった。しかし、就職する企業がなかったため、関東に移った。

東京は気軽に自転車で出向けないが、京都だと気軽に外出できるのが良い。

コロナで直接出向けないが、オンラインでつながれたりできているのは良い。

65点！東京でお金があるので、参加できる施設・イベントが充実。土日以外は参加できない。平日に関わりを持ってない。

子供きっかけで、コミュニティに入るかたも多い。

50点！入りやすいコミュニティとそうではないところがある。関わり方が分からない外部の方も多し。まちづくりに入りやすい・入りにくい半々な感じ。

60点！まちづくりカフェ等で新しい方を呼び込むのは良いけれども、地域にガッツリと参加しなければいけないので。

68点！アイデアと人だけでは物事は進まない。資金面で課題がある。

半径10mで  
住める！

資金配分を見直す。新しいまちづくりのための資金を生み出す！

コロナを機に、不要な事業をやめてしまっ、予算を回すことができないか。

祇園のまちを支えている方には、気軽に会えない感じがある。小さい街なのに、

60点！若い方や学生が多いのに、出ていく側面が多い。場所がない。

PTAで1年間拘束されると辛い。やりたい分だけ関わるような仕組みがあると良い。

地域コミュニティに入るとなると、週3で入るとかガッツリ入らないといけない。

この2時間だけとか、薄く長くつながるとかの関わり方があっても良い。

簡単に薄くても関わられるような環境作りをしたと思った。

京都市の財政は厳しい面もあるので、シリコンバレーのような資金を集める方法も考えた方が良いと思う。

# まちづくり活動を活性化する！市民トークセッション②

## 新たな「まちづくり」プレイヤーが参画しやすいまちにするには？

### 班3 なにがあると、100点満点になりますか？

#### 世代間の溝を感じる

まちづくりに若い世代が参画しないと、継続的な取り組みにならない

若い世代はSNSを活用しているが、高齢者が使えないことで意見交換できていないように感じる

地域の高齢者にアンケートすると、75%が家にネットワーク環境がある、スマホも使えると回答した

高齢者だからSNSなどデジタルツールが使えないわけではないと感じた

どっぷりではなく、薄く関われる方法があると参加しやすくなるのではないが

次の世代につなぐことができたら、100点満点になるのではないが

無理やりにもつなげて、世代交代させないといけないのではないか

デジタルツールが使えないから、世代間交流ができないのではないか

共有の話題がない、共有の話題でつなげるコミュニティがない、違う場所にいる

子どもがいないと、まちづくり活動のプログラムを知って、関わるようになる。どのようにきっかけを作るか？

働く世代のまちづくり参画ができていない

自治連合会に関わっている人でも、参加している人は面白い、やりがいを感じている。すでに活動している人がバリアをはっていると入りにくくなるのではないか

地域の新しいプレイヤーを受け入れる度量、任せる度量

「場」があればつながるのかもしれない

おばあちゃんのお知恵袋と若者文化の交流など

企業の休暇制度によって、まちづくり活動に関わってもらえるなど



# まちづくり活動を活性化する！市民トークセッション②

## 新たな「まちづくり」プレイヤーが参画しやすいまちにするには？

### 班 4 なにがあると、100点満点になりますか？

<点数と理由>

60点：アンケートで4割の方が「まちづくりに参加したことない」

50点「若い人が入ってこない、リタイヤした人ばかり」

60点「京都は優秀な大学が多いのに、ほとんどが東京に行ってしまう」

80点「職場には毎年“こんなことしたい・やりたい”と言う若者が沢山いる、その情報が入ってくる」「一方で、それが持続するかは難しい（特に学生サークルは世代交代が壁。他にもノウハウ・お金など）」

地域の課題に、企業として参加していることはなかなか無い。

70点

<若い人（働いている世代）が活動に入ってこられる仕組み・仕掛け>

会社：地域のボランティアを推進する制度、もしくはそういった活動を評価する仕組み

若者にとっての魅力・興味を湧かせるもの

<学生が京都に残るような取り組み>

<学生とシニアの間の世代（特に子育て世代）>

「すごいなあ」とは言われるけれども、「私はできないけど」という意識を持っているよう。

難しいことでは無いの分かって欲しい。

いろんな年代の縦の繋がり

大きいことでもなくても良いから参加する

<活動を継続させるためのサポート>

<その地域の会社の従業員>

会社：地域の活動に、「企業として」強制参加。住んでいなくても、その地域に昼間いる企業の従業員も、その地域のまちづくりプレイヤーのはず。

<その他のアイデア>

自治会に入っていないなくても参加できるイベント

“自分ごと”にする

社会課題に取り組むプレイヤーを増やす・繋がる・可視化する

京都を盛り上げたいと思っている人を増やす・繋がる・可視化する

<多様な人が参加する仕組み>

SNSなら、高齢者も含めて、様々なコミュニティが既にある。「地域」で繋がるSNSがあれば良いのでは無いか。

コミュニティ感（全ての人を内包する雰囲気）

いろんな参加の仕方、参加のパターン（ゆるやかな参加）

# まちづくり活動を活性化する！市民トークセッション②

## 新たな「まちづくり」プレイヤーが参画しやすいまちにするには？

### 学びや 気づき

企業に勤めて時間のない中で参加できる仕組みや受け入れかた

働き世代をまちづくり活動に招き入れるには？時間やきつかけがない中で、働き世代に寄り添った方法ができないか

必要な時に必要なコミュニティに入れるというのは大事だと感じた。

仕事でも地域活動でも生かしていきたいお話が聞けました

若者に残ってもらえるまちづくり（京都ならではの）

京都には大学が多いが、優秀な若者が残ってもらえるような仕組みづくりはできないか

多様なセクターの人と話す中で、多様な方の話が聞けてよかった

企業や会社と一緒に活動していくにはどうしたらいいか...を考えられました。

地域活動にあこがれてこの業界に入ったことを思い出しつつ、今の活動がまちづくり活動なのかな？と考えています

まちづくりに対して好きな点と課題を両方感じているからこそ、0点でも100点でもないのが印象的だった。

企業人としても個人としても「まちづくり」は重要なテーマ。ビジネスとまちづくりのつながり、個人としては仕事しながらどのように参加できるかを考えたい

若い世代、働き世代に寄り添った受け入れ方（招き入れたい人に寄り添う気持ち）

色んな立場から色んな課題を聞いた

はたらく世代、若い世代をどう取り込むかが重要なポイント

話したりない気持ちを抱えつつも楽しく話せました